

子どもたちに寄り添う ～いじめ・虐待・非行の現場から～

講師 坪井 節子 (社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長・弁護士)

子どもの人権救済活動に携わる弁護士の現場では、いじめや虐待に苦しむ子ども、非行に陥ってものがく子どもと出会います。その悲惨な現実、あまりに深い苦悩に打ちのめされ、己れの無力を思い知らされます。「生きていてほしい。ひとりぼっちにだけはしない。」という思いで寄り添い続けるしかありません。ところが、いつか子どもの方が立ちあがり、自分の道を見つけて歩き出し、逆に私たちを励まし、希望の光を与えてくれるのです。

そうした活動の中から、虐待のために、今晚泊まるところがないというハイティーンの子どものためのシェルター(緊急避難場所)がほしいという願いが生まれました。多くの人々の夢がひとつになり、2004年にカリヨン子どもセンターが活動を開始しました。これまでに300人以上の子どもが利用しています。全国各地で、子どもシェルターが開設され始めています。

どうしたら苦しむ子どもたちと共に歩いていくことができるのかを、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
(坪井 節子)

日時 2015年 11月14日(土) 13:30~17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300円、学生 1,000円 (コーヒー込み)

*11月11日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。



坪井 節子 つばい せつこ

1978年3月、早稲田大学第一文学部哲学科卒業。1980年4月、東京弁護士会にて弁護士登録。1984年4月、坪井法律事務所開設。1987年11月から、東京弁護士会子どもの人権救済センター相談員、東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する委員会委員、文京区教育委員など。2004年6月から、NPO法人カリヨン子どもセンター、2008年3月から、社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長。日本基督教団弓町本郷教会員。

著書 子どもたちに寄り添う(いのちのことば社)、子どもは大人のパートナー(明石書店)、弁護士お母さんの子育て新発見(草土文化)、少年法・少年犯罪をどう見たらいいのか(明石書店・共著)、人権を考える本②子ども・障害者と人権(岩崎書店)、わたしの人権 みんなの人権・第2巻 いじめ、暴力、虐待から自分を守る(ポプラ社)、お芝居から生まれた子どもシェルター(明石書店・編集代表)など。

- ◎スケジュール◎
- 13:30～15:00 挨拶・講師紹介
講演・発題
- 15:00～15:30 コーヒーブレイク
- 15:30～17:20 質疑とはなしあい
- 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



2015年度 修学院フォーラム

「いのち」

第2回 9月26日(土)

「赤ちゃんがほしい！不妊治療の進歩は、本当に女性に恩恵を与えているでしょうか～産科医の立場から」

講師：川北 かおり（西神戸医療センター産婦人科医長、周産期センター長代行）

「社会」

第1回 2016年1月10日(日)～11日(月祝)

「核に依存しない世界に向けて」

「東北の被災地からの訴え」講師：川上 直哉（東北ヘルプ事務局長）

「核に依存しない社会の構築」講師：飯田 哲也（環境エネルギー政策研究所所長）

第2回 2016年1月30日(土)

「日本の政治とキリスト教(仮)」 講師：佐藤優（文筆家）

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117 (直)

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2015年度 修学院フォーラム「福祉」第2回 参加申込書

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 () - ()	FAX () - 携帯 ()
電子メール :	@
通信欄 :	